

# 理工学部ディプロマポリシー<2022年度以降入学者>

	大学共通	理工学部 理工学科
人材育成方針	成蹊大学は「理念・目的」を踏まえ、以下の人材育成方針のもとに教育を行います。 1 広い教養と深い(各学科、各専攻の)専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。 2 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。 3 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。 4 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。	情報技術を中心とした基礎教育、各専攻分野に立脚した専門教育、専門の垣根を越えた融合教育の3つの教育の柱により、急速な技術革新、自然との共生、持続発展型社会の実現等の現代社会が抱える複雑な課題に果敢に取り組める人材を養成する。 1 科学技術の進歩と社会の持続的発展のために生涯学び続けることができる人材を養成する。 2 現代社会における専門性の高い科学技術関連分野の中核を担う人材を養成する。 3 複雑な現実社会における課題の発見・解決に取り組める人材を養成する。 4 多様な人々と協働して課題の発見・解決に取り組める人材を養成する。
DP	成蹊大学は、「教育の目標(人材育成方針)」を踏まえ、次のように学位授与の方針を定めます。「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「多様な人々との協働」「表現力、発信力」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された各学科、各専攻の教育課程において、所定の単位を修得した者に対して所定の学位を授与します。	理工学部理工学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(理工学)の学位を授与します。
DP1	【専門分野の知識・技能】 (DP1) (各学科、各専攻の)専門分野に関する知識・技能を修得している。	【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 理工学科各専攻の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2 理工系基礎知識) 科学の基礎となる数学、物理、化学、生物、IT活用技術及び関連する基礎実験等の理工基礎科目の学修を通じて、理工学全般への理解を深め、科学技術に対する基礎的資質(多角的な視点や柔軟な科学センス)を身につけている。 (DP1-3 専攻ごとの専門的な知識と実践的な科学技術スキル) 各専攻で必要とされる基礎的な知識と技法を身につけながら、テーマを絞ったより専門性の高い分野を体系的に学修することにより、その高度な専門的知識を身につけ、科学技術者として社会に貢献する応用力と実践力、あるいは教育者として理工系の技術を的確に学習者に伝承できる力を身につけている。
DP2	【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。	【教養の修得】 (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2 広い視野での思考・判断) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための幅広い教養と社会性・国際性を身につけ、広い視野で思考・判断を行う力を身につけている。 (DP2-3 社会人基礎力) 技術者倫理、関係法規、経営工学、アントレプレナーシップ等の学修を通じて、科学技術をもって社会に貢献しようとする社会人基礎力を身につけている。
DP3	【課題の発見と解決】(情報の調査収集+分析+解釈+論理的思考) (DP3) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身につけている。	【課題の発見と解決】 (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身につけている。 (DP3-2 情報の調査収集+分析+解釈+論理的思考) 課題に関わる文献や統計データを含む各種の情報を関連学会誌や論文集、専門記事、関連企業の公開情報やインターネットから調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身につけている。 (DP3-3 課題の解決力) 各専攻のプロジェクト型の実習・実験、研究活動、副専攻の学修などを通じて、人が直面する課題に対して的確な解決方法を策定し、それを実践する力を身につけている。
DP4	【表現力、発信力】 (DP4) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身につけている。	【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身につけている。 (DP4-2 表現力・発信力) 専門的な技術内容およびそれらを通じて得られた成果を、第三者に的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力と、その内容について他者と十分に討論する能力を身につけている。
DP5	【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	【多様な人々との協働】 (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。 (DP5-2 多様な価値観の理解力) 主たる専攻科目に加え、副専攻科目やプロジェクト型科目の学修を通じて多角的な視点を持った柔軟な科学センスを身につけ、他分野の人とのコミュニケーションを図りながら多様な価値観を理解する能力を身につけている。 (DP5-3 チームワーク力) 協働する仲間との円滑なコミュニケーションを図りながら、自身と他者の専門性を有効に組合せ、問題解決にあたるチームワーク力を身につけている。
DP6	【自発性、積極性】 (DP6) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。 (DP6-2 自発性・積極性・継続性) 留学、インターンシップ、ボランティア、分野横断的あるいは産学連携のPBL、卒業研究等の学修を通じて、未知なるものに挑む強い知的好奇心を持ち、継続的に学修して新たな発見に貢献しようとする意欲とそれを実行するための計画力を身につけている。